

# 急症与护理

主编  
钟以莲  
李改焕



河南科学技术出版社

## 作者名单

主编 钟以莲 李改焕

副主编 阎西艸 王庆兆 柳瑞呈

编者 (以姓氏笔画为序)

王庆兆 王永真 石桂芳 江月娥 米玉华

刘瑞霄 乔玉环 李沛 李敏 李涛敏

李改焕 周建华 屈清荣 柳瑞呈 钟以莲

钟全慧 徐秋萍 阎西艸 董长江

插图 郭黎萍

## 序　　言

由河南医科大学第一附属医院护理部组织编著的《急症与护理》现出版同广大读者见面了，这是她们刻苦钻研、辛勤劳动、集体智慧的结晶，我表示衷心的祝贺！

护理学是临床医学的重要组成部分，从基础护理到临床危重病人的急救，无一能离开护理工作的，所以欲要提高护士的抢救技能，就必须提高护士的业务素质，加强抢救基本功的训练，提高抢救成功率。

本书是为参加危重病人急救及护理治疗的临床护士和医师使用的工具书，内容选择是以临床科室经常遇过的危重情况为主，着重介绍其急救处理和急救后的护理治疗，她们经过两年多的时间，反复研究、广泛征求意见，力求实用，切合国情和近期内的发展作了深入浅出的叙述，同时作者结合危重病人的实际需要，病情变化迅速，治疗棘手，唯有严密监测，才能洞悉病情的演变，以便及时采取有效措施，使部分病人转危为安。

重病护理作为一门学科已在我国迅速发展，不少医院先后建立了重症监护病室和ICU病室，为及时抢救危重病人作出了积极努力，但是，深入介绍重病人的护理与治疗的参考书在国内还较少，为适应这方面的迫切需要，作者想尽一切办法，为护理事业添砖加瓦。

该书作为工具书，共分六篇，第一篇以内科心肺、肝、肾等重要器官的功能衰竭为核心，二、三、四、五、六篇分别介绍了外科、妇产科、眼科、耳鼻喉科、口腔科重病急救情况，本书内

容丰富、简练、系统、条理清楚，是医务工作者不可缺少的参考书。

刘全喜

1992年12月21日

# 目 录

## 第一篇 内科急症

第一章 呼吸系统急症.....	( 1 )
第一节 大咯血.....	( 1 )
第二节 休克型肺炎.....	( 9 )
第三节 哮喘持续状态.....	( 13 )
第四节 肺性脑病.....	( 17 )
第五节 自发性气胸.....	( 20 )
第六节 呼吸衰竭.....	( 26 )
第二章 消化系统急症.....	( 33 )
第一节 上消化道出血.....	( 33 )
第二节 胆道蛔虫病.....	( 38 )
第三节 急性肠胃炎.....	( 39 )
第四节 肝性昏迷.....	( 40 )
第三章 循环系统急症.....	( 43 )
第一节 高血压与高血压危象.....	( 43 )
第二节 急性心肌梗塞与心绞痛.....	( 46 )
第三节 急性心力衰竭.....	( 51 )
第四节 急性心包填塞.....	( 53 )
第五节 休克.....	( 55 )
第六节 心原性休克.....	( 58 )
第七节 心律失常.....	( 59 )
第四章 血液系统常见急症.....	( 66 )

第一节	白细胞减少症和粒细胞缺乏症	( 66 )
第二节	急性特发性血小板减少性紫癜	( 67 )
第三节	急性白血病	( 69 )
第四节	弥漫性血管内凝血 ( DIC )	( 70 )
第五节	急性再生障碍性贫血	( 72 )
<b>第五章</b>	<b>内分泌和泌尿系统常见急症</b>	( 75 )
第一节	糖尿病酮症酸中毒	( 75 )
第二节	甲状腺功能亢进危象	( 76 )
第三节	嗜铬细胞瘤	( 78 )
第四节	急性肾功能衰竭	( 79 )
<b>第六章</b>	<b>脑血管意外</b>	( 82 )
第一节	脑出血	( 82 )
第二节	蛛网膜下腔出血	( 84 )
第三节	脑血栓形成	( 85 )
第四节	脑栓塞	( 86 )
<b>第七章</b>	<b>理化因素所致疾病</b>	( 87 )
第一节	急性有机磷农药中毒	( 87 )
第二节	一氧化碳中毒	( 90 )
第三节	急性亚硝酸盐中毒	( 91 )
第四节	细菌性食物中毒	( 94 )
<b>第八章</b>	<b>传染科常见急症</b>	( 97 )
第一节	流行性出血热	( 97 )
第二节	狂犬病	( 100 )
第三节	中毒性痢疾	( 102 )
<b>第九章</b>	<b>内科常用抢救技术</b>	( 104 )
第一节	临时心脏起搏器的应用	( 104 )
第二节	直流电除颤器的使用	( 106 )
第三节	人工呼吸器的使用	( 107 )

第四节	心脏骤停与心肺复苏	(108)
第十章	常用穿刺术	(113)
第一节	腰椎穿刺	(113)
第二节	心包穿刺	(115)
第三节	胸腔穿刺	(116)
第四节	中心静脉压测定	(118)

## 第二篇 外科常见急症

第一章	外科急症常用抢救措施	(121)
第一节	补液	(121)
第二节	输血	(126)
第三节	输液输血紧急处理方法	(132)
第四节	止血法	(136)
第五节	包扎法	(140)
第六节	固定法	(144)
第二章	昏迷病人的接诊与抢救	(147)
第三章	外科休克	(150)
第四章	休克与多器官衰竭	(152)
第五章	挤压伤与挤压综合征	(154)
第六章	急性肾功能衰竭	(156)
第七章	烧伤	(159)
第八章	电击伤	(162)
第九章	溺水	(164)
第十章	急性全身性化脓性感染	(165)
第十一章	破伤风	(167)
第十二章	颅脑外科急症	(168)
第一节	头皮损伤	(168)
第二节	颅骨骨折	(170)

第三节	脑挫伤	(171)
第四节	外伤性颅内血肿	(172)
第五节	开放性颅脑损伤	(175)
第六节	脑疝	(176)
第七节	颅脑损伤病人的观察护理	(178)
<b>第十三章</b>	<b>胸部外科急症</b>	<b>(180)</b>
第一节	气胸	(180)
第二节	创伤性血胸	(182)
第三节	损伤性窒息	(183)
第四节	损伤性膈疝	(184)
第五节	外科急性大咯血	(185)
第六节	呼吸道急性梗阻	(186)
<b>第十四章</b>	<b>心血管外科急症</b>	<b>(187)</b>
第一节	心脏外伤	(187)
第二节	四肢大血管损伤	(188)
第三节	四肢动脉栓塞	(190)
第四节	下肢急性血栓性静脉炎	(191)
<b>第十五章</b>	<b>腹部外科急症</b>	<b>(193)</b>
第一节	脾破裂	(193)
第二节	肝脏破裂	(194)
第三节	创伤性肠破裂	(196)
第四节	肛门、直肠损伤	(199)
第五节	腹腔大血管损伤	(200)
第六节	急性腹膜炎	(201)
第七节	急性出血坏死性胰腺炎	(202)
第八节	急性梗阻化脓性胆管炎	(204)
第九节	绞窄性肠梗阻	(205)
第十节	急性胃扩张	(207)

第十一节	急性胃扭转	( 208 )
第十二节	上消化道大出血	( 209 )
<b>第十六章</b>	<b>泌尿外科急症</b>	<b>( 214 )</b>
第一节	肾损伤	( 214 )
第二节	输尿管损伤	( 215 )
第三节	膀胱损伤	( 216 )
第四节	尿道损伤	( 217 )
第五节	肾绞痛	( 218 )
第六节	急性尿潴留	( 219 )
<b>第十七章</b>	<b>骨外科急症</b>	<b>( 220 )</b>
第一节	断指(趾)再植	( 220 )
第二节	颈椎骨折与脱位	( 222 )
第三节	胸腰椎骨折与截瘫	( 223 )
第四节	骨盆骨折	( 225 )
第五节	创伤性四肢骨折与关节脱位	( 226 )
<b>第十八章</b>	<b>小儿外科急症</b>	<b>( 227 )</b>
第一节	新生儿皮下坏疽	( 227 )
第二节	先天性消化管闭锁	( 228 )
第三节	先天性膈疝	( 229 )
<b>第十九章</b>	<b>外科术后急性并发症</b>	<b>( 230 )</b>
第一节	甲状腺危象	( 230 )
第二节	甲状腺术后窒息	( 231 )
第三节	腹部切口裂开	( 233 )
第四节	肺栓子	( 234 )

### 第三篇 妇产科急症

<b>第一章</b>	<b>产科急症</b>	<b>( 236 )</b>
第一节	流产	( 236 )

第二节 异位妊娠	(239)
第三节 妊娠高血压综合征	(242)
第四节 前置胎盘	(248)
第五节 胎盘早期剥离	(251)
第六节 子宫破裂	(254)
第七节 产后出血	(256)
第八节 胎膜早破	(260)
第九节 脐带脱垂	(261)
第十节 羊水栓塞	(262)
第十一节 胎儿窘迫	(265)
第十二节 新生儿窒息	(267)
第十三节 产褥中暑	(269)
第十四节 产褥感染	(270)
第十五节 晚期产后出血	(273)
第十六节 忽略性横位	(273)
<b>第二章 妇科急症</b>	(274)
第一节 前庭大腺炎	(274)
第二节 急性盆腔炎	(275)
第三节 卵巢黄体破裂	(276)
第四节 卵巢肿瘤蒂扭转	(276)
第五节 宫颈癌大出血	(277)
第六节 葡萄胎	(278)
第七节 恶性葡萄胎	(279)
第八节 绒毛膜癌	(280)
第九节 子宫内膜异位症	(282)
第十节 功能性子宫出血	(283)
第十一节 处女膜闭锁	(284)
第十二节 外阴裂伤和外阴血肿	(285)

第十三节	阴道损伤.....	( 286 )
第十四节	子宫穿孔.....	( 286 )

## 第四篇 小儿内科急症

第一章	新生儿呼吸窘迫综合征.....	( 288 )
第二章	充血性心力衰竭.....	( 291 )
第三章	小儿惊厥.....	( 296 )
第四章	急性颅内压增高.....	( 298 )
第五章	急性呼吸衰竭.....	( 305 )
第六章	心跳、呼吸骤停.....	( 311 )
第七章	感染性休克.....	( 318 )
第八章	急性中毒.....	( 333 )

## 第五篇 五官科急症

第一章	眼科急症.....	( 337 )
第一节	眼外伤.....	( 337 )
第二节	眼酸碱烧伤.....	( 340 )
第三节	急性闭角性青光眼.....	( 341 )
第二章	耳部急症.....	( 345 )
第一节	急性卡他性中耳炎.....	( 345 )
第二节	急性化脓性中耳炎.....	( 346 )
第三节	化脓性中耳炎及乳突炎的并发症.....	( 347 )
第四节	膜迷路积水.....	( 350 )
第五节	突发性耳聋.....	( 351 )
第三章	鼻部急症.....	( 352 )
第一节	鼻出血.....	( 355 )
第二节	鼻腔异物.....	( 359 )
第三节	急性鼻窦炎.....	( 360 )

[附]	上颌窦穿刺术	(364)
<b>第四章</b>	<b>喉部急症</b>	(367)
第一节	急性扁桃体炎	(367)
第二节	急性喉炎	(368)
第三节	小儿急性喉炎	(369)
第四节	急性会厌炎	(370)
第五节	气管切开	(371)
第六节	环甲膜切开	(375)
[附]	呼吸困难的分度	(376)
第七节	呼吸道异物	(376)
第八节	气管镜检查法	(381)
第九节	食管异物	(384)
第十节	食管镜检查法	(387)
<b>第五章</b>	<b>口腔科急症</b>	(388)
第一节	急性牙髓炎	(388)
第二节	急性根尖周炎	(390)
第三节	急性疱疹性口炎	(392)
第四节	急性白色念珠菌性口炎	(393)
第五节	急性坏死性龈口炎	(395)
第六节	口底蜂窝组织炎	(396)
第七节	口腔出血	(397)
第八节	冠周炎	(400)
第九节	唇痈	(401)
第十节	颌面部间隙感染	(403)
第十一节	颞下颌关节脱位	(405)
第十二节	颌面部软组织的损伤	(406)
第十三节	口腔颌面硬组织的损伤	(409)

## 第六篇 针灸科急症

第一章 内科急症	(412)
第一节 发热	(412)
第二节 哮喘	(413)
第三节 急性腹痛	(413)
第四节 呕吐	(414)
第五节 急性腹泻	(414)
第六节 吐血	(415)
第七节 昏迷	(415)
第八节 眩晕	(415)
第九节 抽搐	(416)
第十节 头痛	(416)
第二章 外科急症	(417)
第一节 急性乳腺炎	(417)
第二节 急性肠梗阻	(418)
第三节 急性阑尾炎	(418)
第四节 急性胆囊炎	(418)
第五节 急性胆道蛔虫	(418)
第六节 泌尿系结石	(419)
第七节 急性腰痛	(419)
第八节 术后肠麻痹	(419)
第三章 妇产科急症	(420)
第一节 痛经	(420)
第二节 阴道出血	(420)
第三节 滞产	(421)
第四节 先兆子痫和子痫	(421)
第五节 妊娠剧吐	(421)

第六节	产后小便不通	( 422 )
第四章	儿科急症	( 422 )
第一节	急惊风	( 422 )
第二节	百日咳	( 423 )
第三节	麻疹	( 423 )
第五章	神经内科急症	( 424 )
第一节	脑血管病	( 424 )
第二节	癫痫	( 424 )
第三节	三叉神经痛	( 425 )
第四节	坐骨神经痛	( 425 )
第五节	癔症	( 426 )
第六章	五官科急症	( 426 )
第一节	结膜炎	( 426 )
第二节	急性虹膜睫状体炎	( 426 )
第三节	青光眼	( 427 )
第四节	暴盲	( 427 )
第五节	急性咽炎、扁桃体炎	( 427 )
第六节	急性喉炎	( 428 )
第七节	牙痛	( 428 )

# 第一篇 内科急症

## 第一章 呼吸系统急症

### 第一节 大咯血

咯血是指喉部以下的呼吸道出血，经咳嗽从口腔咯出。咯血时有喉痒感，血呈弱碱性，泡沫状，色鲜红，多混有痰液，常不难作出诊断。大咯血死亡率很高，国外报道达50~100%。绝大多数病人死于咯血后窒息，因此对大咯血病人必须严密观察和护理。如抢救及时，能及时发现窒息的早期征象，即可挽救病人生命。

临床所指的大咯血为每日出血量在500~2000ml。而急性（致命性）大咯血是指从口鼻急剧喷射大量鲜血，出血量在2000ml以上的大出血。

#### 咯血与呕血的鉴别

	途径	颜色	酸碱性	混入物	体征	出血后	既往史
咯血	气管 咳出	呈鲜红或 紫褐色	碱	痰	肺部罗音	血痰	肺、心 病史
呕血	食道 呕出	暗红或咖 啡色	酸	食物	上腹压痛	黑便	胃、肝 病史

## **一、常见病因及发病机理**

### **(一) 支气管疾病**

由于气管疾病引起的大咯血，以支气管扩张为多见。由于支气管有炎症病变，邻近的血管壁弹性纤维破坏，或在支气管壁形成假性动脉瘤，易破裂引起大咯血。出血量每次常达300ml以上。

支气管结石引起的咯血通常是反复小量咯血，同时有咯出结石史，亦可出现大咯血。

支气管癌的咯血一般为持续性咯血痰或小量咯血，少数病人可发生大咯血，每日或数日咯血1~2次，每次300~500ml，治疗效果常不好。

气管切开引起者多由于套管的位置不正确，随呼吸运动损伤支气管动脉引起喷射性大咯血，可在2分钟内因咯血而窒息，甚至死亡。

### **(二) 肺部疾患**

肺结核占肺部疾病咯血的第一位，常见于肺纤维空洞。由于肺功能低下，故很容易引起大咯血窒息死亡。肺脓肿早期可引起大咯血，多因脓肿壁血管被破坏所致。

### **(三) 其他疾病**

肺炎、肺寄生虫、血液病、流行性出血热以及白塞氏病等常引起小量咯血，偶有大咯血。

从表中可以看出，我国患者咯血的原发病灶主要在肺部。

## **二、咯血的观察要点**

大咯血是由多种疾病引起的一种严重症状。咯血呈喷射状，咳嗽无力，并发全部肺不张者，均属凶兆。有时原发病不严重，也可由于大咯血窒息而死亡。因此在护理观察中必须十分仔细，严肃认真，不仅要观察咯血量的多少，而且还要注意出血的速度和次数，并且结合病人的年龄、体质的强弱、病程的长短和肺功

国内592例咯血病人的病因统计

原发病	例数	百分比(%)
肺结核	342	52.9
支气管扩张	147	22.7
支气管肺癌	43	6.6
肺 炎	20	3.1
风湿性心脏病	18	2.8
慢性支气管炎	11	1.7
原因不明	11	1.7

能损伤的严重程度等进行综合考虑，做到及早发现咯血窒息的早期征象，以便迅速实施各种抢救措施。

对大咯血者，必须准确记录咯血量，认真观察精神意识状态的改变。如有烦躁不安、表情恐怖、精神呆滞、喉头作响、呼吸浅速等早期窒息症状发生时，应即刻采取保持呼吸道通畅的抢救措施。按时测血压、脉搏、呼吸。如大咯血后有出冷汗、四肢发凉、脉细速、血压下降等休克症状时，应立即抗休克治疗。大咯血未停止以前不宜搬动病人。

### 三、咯血的一般处理

1、休息 大咯血时应嘱患者保持安静，绝对卧床休息，取病侧卧位，以免波及健侧及降低肺的活动度。也可取半卧位，以减少下肢和腹腔血液的回流，降低肺循环的压力。大咯血病人不宜搬动或转送，以免途中咯血窒息引起死亡。

2、心理护理 大咯血对病人威胁很大，患者常有恐惧焦虑情绪。由于交感神经兴奋性增强，使心跳加快，血流增速，肺循环血量增多，常不利于止血。这时应有专人护理，以高度的同情